

20. ミスミイ（カヤツリグサ科ハリイ属）

Eleocharis acutangula (Roxb.) Schult.

2014年9月

池沼やため池など、日当たりのよい浅瀬に生育する水草で、多年草の抽水植物です。地下茎は長く這い、多数の稈を出します。稈は黄緑色で高さ40~80cm、幅2.5~4mm、鋭い三稜形で内部によこの仕切りがなく中実です。和名は三隅藪で、稈の三稜形から来ています。花は7~10月ごろ稈の先端につき、円柱形で先は尖ります。根に根粒状の塊ができることも特徴とされます（角野）。稈の断面が三角形をした抽水植物はカンガレイ (*Schoenoplectus triangulatus* (Roxb.) Sojak) やサンカクイ (*Schoenoplectus triqueter* (L.) Palla)、シズイ (*Schoenoplectus nipponicus* (Makino) Sojak) などがありますが、先端に穂をつけるのは本種だけです。類似種のクログワイ (*Eleocharis kuroguwai* Ohwi) は稈の先端に穂をつけません。稈が円筒形、中空で内部は多数の隔膜で仕切られています。

ミスミイの分布は本州（関東以西）、四国、九州、沖縄で、国外は中国からインド、オーストラリア、熱帯アメリカと広域ですが、国内の生育地は少なく、兵庫県での記録は東播磨（福岡ほか：兵庫県産維管束植物11）で、現在見られるところは加東市の一部だけかもしれません。兵庫県版レッドデータブック2010のAランク、近畿版レッドデータブック2001のAランク、日本の絶滅のおそれのある野生生物第4次レッドリストはENランクに位置します。



ミスミイ（加東市）



開花状況（加東市）



生育状況（加東市）



生育状況（オーストラリアヨーク半島）